



2024. 10.28

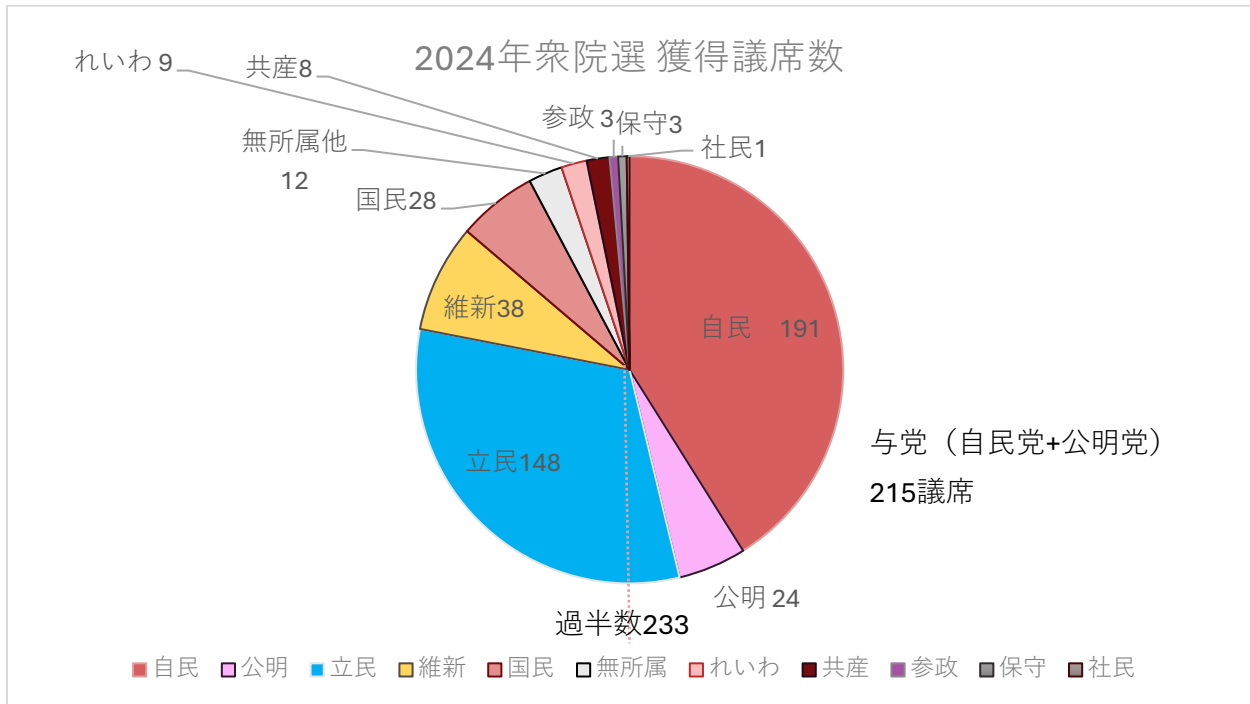
自民党が大敗、野党との連携の可能性も一政治的混乱が継続

衆院選（定数 465）は 10 月 27 日に投開票され、政治資金を巡る問題で自民党が大敗し、公明党と合わせた与党で過半数に届かなかった。石破茂首相は政権維持を目指し、国民民主党や日本維新の会に連携を求める動きが加速する可能性がある。ただ自民党内では首相の責任論が強まる可能性もあり、政権運営は極めて難しい状況にある。当面は政治的な混乱が続くことが予想される。

自公は 15 年ぶりの過半数割れ、立憲、国民は躍進

自民・公明両党で過半数を下回るのは、民主党政権が誕生した 2009 年衆院選以来、15 年ぶり。今回自民は、党の派閥の政治資金パーティーを巡る問題が大きな逆風となり、選挙前の 247 議席から 50 議席以上減少した。連立与党の公明も、政治資金問題で自民が非公認とした候補への推薦で有権者の反発を招いたほか、日本維新の会と初めて激突する構図となった大阪で苦戦し、比例代表との重複立候補を行わない戦略が裏目に出た。

自公合わせて 215 議席に留まったため、自民が政治資金問題で非公認になった無所属の当選者を追加公認しても過半数の 233 議席には届かない。過半数の維持には、大きく議席を伸ばした国民民主や維新を組み入れた新たな連立政権の枠組みを模索することになる。



| 政党名 | 自民 | 公明 | 立民 | 維新 | 国民 | 共産 | れいわ | その他・無所属 |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|---------|
| 席数 | 191 | 24 | 148 | 38 | 28 | 8 | 9 | 19 |
| 増減 | ▼56 | ▼8 | △50 | ▼6 | △21 | ▼2 | △6 | N/A |

一方、野党第一党の立憲民主党は選挙前から 50 議席増の 148 議席と大きく躍進した。中道・保守路線の野田佳彦元首相が代表となり、自公政権批判の受け皿としての役割を果たした。立憲も政権奪取に向けて国民や維新に協力を求めると見られる。



首相指名選挙に向けて与野党が多数派工作

今後は、選挙後の国会での首相指名選挙に向けた与野党の多数派工作が加熱することとなる。憲法で衆院選投票日から30日以内に国会を召集することが定められているため、11月26日が期限となる。

一方、石破首相が勝敗ラインに掲げていた与党過半数を下回る結果となり、自民党内で退陣論が高まる可能性もある。首相は現時点では続投の意向を示しているものの、野党側との連携協議が難航すれば、党内の反発も強まり、首相の政権維持は不透明な状況となる。

| 今後の政治日程 | |
|------------|-------------------------------|
| 2024年11月5日 | 米大統領選挙 |
| 15日 | アジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議（ペルー） |
| 18日 | 20カ国・地域（G20）首脳会議（ブラジル） |
| 26日 | 特別国会召集（首相指名選挙）の期限 |
| 未定 | 臨時国会召集、24年度補正予算案？ ←政治状況で日程は変動 |
| 12月下旬 | 25年度予算案、税制改正決定 |
| 2025年1月 | 通常国会 |
| 夏 | 東京都議選、参院選 |